

研修グループワーク記録

R5.3.24

モニタリングについて

<1G>

- ・短期目標の確認をしたいが、家族の愚痴等を聞いていると時間がなくなる。本人の話ばかり書くとまとまらずポイントがずれてしまう。
- ・特別な事情がなく安定していると、目標が頭に入ってなく聞き取れない。聞いてきた内容を記録に落とし洩れているケースをどうするか？
- ・話してもらった内容を忘れないように書いてきても分からなくなってしまう。
- ・変化のある人は確認するが、安定していると「大丈夫、変わらない」という返答にどう切り込むか？
- ・要点を得ているか、利用票をもって行って話を聞いている。しかし、聞くべきことが聞けているかわからない。
- ・この人の課題？元気がどうか？疾患に基づいて具体的に聞いている。本人の言葉を書くようにしている。
- ・本人の良いところをどうとらえるか、「調子が良い」をどうとらえるか、落ち着いている人のモニタリングをどうするか等に悩むことがある。
- ・疾患をアセスメント、モニタリングしたものをどう記録するか。

<2G>

- ・長年、同じような状態（福祉用具のみ）だが生活には必要な利用者のモニタリングが同じになり、記載することがなくなる。
- ・目標設定が同じようになってしまう。
- ・居宅療養管理指導のみのサービス利用でモニタリングは必要あるのか？
- ・家族が忙しく、本人、事業所のモニタリングは可能だが、家族へのモニタリングはどうしたらいいか

<3G>

- ・物語式で書いてしまう。プランと連動しているかと言うと・・・生活はとらえてくるが、短期目標や課題に繋がっているかは考える必要がある。
- ・時間をかけているが聞きたいことをズバリ聞けないことがある。
- ・生活の把握はする。ケースによって訪問時間を考えている。全ての人の短期目標がある程度入っている。
- ・ファイルを持参してモニタリング訪問している。
- ・モニタリングの様式を持参してモニタリング訪問している。
- ・コロナ禍でマスクをすることでにおいや表情がわからないことがある。感染予防することで時間も限られてしまう。
- ・前月の訪問時に翌月の訪問の約束をし、毎月定時に訪問している。